

## 1 目的

本校は、明治からの学校で、近くには福島正則公生誕の地の碑もあり、日頃から地域と深いつながりを持ち、地域の方に温かく見守られて学校教育を進めています。地域力は、本校になくてはならないものになっています。そこで、地域との連携を図り、地域力を学校力とすることで、児童を育てていきたいと考えました。また、今の世の中を生き抜く力、生きる力を児童に身に付けさせ、夢（目標）に向かって努力する子を目指すため、豊かな心の醸成と指導力向上を図っていききたいと思えます。

## 2 内容

### (1) 地域との連携

今年度は愛知県より「地域に学び・語り継ぐ キャリア教育」の推進事業の委託を受けました。高学年の児童は、地域で働く人の講話や職場体験の内容を下級生や保護者に伝えることで、自分の将来の夢について考えるよい機会になりました。

6月に行った「親子ふれあい学級」では、地域の講師30名を招聘し14講座を設けました。講師の方の事前準備は入念で、講座にかける意気込みを感じました。また、どの講座にも、親子が真剣にもの作りに取り組む姿は、ほほえましく映りました。

6月には、親子と一緒に通学路を点検し校区の「安全マップ」を作成し、地域や家庭へ配布しました。この活動を通し、地域の安全について考える活動につなげることができました。

全校児童は、毎年「農業体験」を地域の農業委員の方々のご指導で行っています。今年は例年と比べ、サツマイモを多く収穫しました。学年ごとに工夫してイモ調理をしました。また、2年生は農業委員さんと見守り隊の方々を招き「感謝の会」を行いました。

### (2) 豊かな心の醸成と健康づくり

金管部が運動会や地域に出かけ演奏をしています。地域の温かい声援が、金管部の励みとなります。また、歌声の響く学校は、児童の心を豊かにしています。児童は、「今月の歌」を朝礼の後や朝の会で歌っています。今年は、10・11月に「学習発表会」、2・3月に「卒業式」の合唱を中心に講師



＜保護者への発表＞

親子ふれあい学級の講座名	
楽しいマジック	ペンケースをつくろう
間伐材を使った木工	押し花
ペーパーダンス・パフォーマンス	MY「みそ」とみそ料理をつくろう
ビーズで作るタオルかけ	紙ひこうき
フラワー・アレンジメント	竹とんぼをつくろう
絵手紙	ハサミを使った紙工作
親子馬	はがきにちぎり絵をはろう

を招聘して練習に励み、レベルアップを図っています。

また、健康づくりとしてバトンタッチ運動(歯科指導)をしたり、体力づくりとして25分間の休み時間に長縄跳びや持久走の練習をしたりしました。

### (3) 指導力向上

校内で「互いの思いや考えを伝え合う児童の育成ー話す・聞く力を生かし、話し合い活動を充実させるための工夫を通してー」の研究を推進しています。3年目の今年度は、話し合い活動の中で、相手の考えと自分の考えを比べながら自分の考えを更に深めていく授業に取り組んでいます。



校内現職教育では、大学の先生を3回招聘しました。研究授業の後、付箋紙を用いたワークショップ型の研修を行うことで、活発に意見交換ができ、教員の主体的な交流や若手教師の研修の機会となっています。

### <4年生：よりよい学級会にしよう>

## 3 評価

(1) 児童たちはキャリア教育を通して、地域に働く人の工夫や苦勞を学んだり、自分の将来の生き方や夢について考えたりしました。また、農業委員や見守り隊の方々に対して「感謝の会」をしたり、金管部が学区の菊泉院を訪問したりすることで、豊かな心を育てることができました。

(2) 今年も、講師から合唱指導を受けることで、歌声の響く学校となっています。健康づくりとしてバトンタッチ運動を継続することで生涯教育につながり、自分の体と健康への意識を高めていくことができています。



(3) 研究授業や校内研修により全職員の指導力が向上してきています。この指導により、授業の中で、自分の考えを進んで話したり、友達の考えを自分のものと比べながら楽しく聞いたりする姿が見られるようになってきました。

### <講師による合唱指導>

## 4 課題

(1) 今年のキャリア教育を来年度以降も継続させるために、年間指導計画の見直しや新たに体験する職場の開拓などを行います。

(2) 今年は歌声を学習発表会で発表することができました。今後は歌声を発表する機会を増やし、一人一人が自信をもって合唱に参加できるようにしていきます。

(3) 話し合い活動は充実してきていますが、まだ、自分の考えを最後まではっきりと主張できる児童は多くありません。今後も、あらゆる教科で言語活動充実を図って互いに聞く・話す態度を身に付け、言葉のキャッチボールができるようにスキルを重ねていきたいと思っています。